

## ▶なぜクロマツを植えるの？

クロマツは、潮風に強いので海岸沿いでも育ち、大きくなって海からの風や砂を防いでくれます。そのため、海岸で植樹するときにはクロマツが選ばれています。



## ▶なぜ東海村の海岸にクロマツ林が作られたの？

明治時代の終わり頃、村松海岸は天然の海岸林がわずかに残るのみで、飛砂を防ぎきれず、海から吹き付ける砂や潮風に人々は苦しめられていました。砂丘化していく危機から村を守るため、クロマツを植樹し、砂防林をつくる挑戦が始まりました。

大正7年(1918)に村松海岸が国の「かいがんさぼうりんぞうせい海岸砂防林造成に関する試験地」にかわたまさる選ばれ、河田杰博士を指導者とし、のべ35年間、約2万3千人という多くの村民の手によって約160haの砂防林が完成しました。その功績は「砂防林造成の碑」に刻まれ、今に伝えられています。



## ▶クロマツ林を脅かす「松くい虫被害」

先人たちが作り上げたクロマツ林は、近年「松くい虫被害」に苦しんでいます。「松くい虫被害」とは、2種類の虫(マツノザイセンチュウ・マツノマダラカミキリ)が引き起こす、日本各地でマツを枯らしているでんせんびょうマツの伝染病のことです。東海村も大きな被害を受け、その対策を行っています。



東海村 産業部 農業政策課

## ＼クロマツ林を再生しよう！／

むらまつせいらん

# 村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト

東海村の海岸にはさぼうりん砂防林と呼ばれる、海からの風や砂などから海岸沿いの暮らしを守るために作られたクロマツ林が見られます。そして「村松晴嵐の碑」周辺は、東海村を代表する景勝地として古くから多くの人々に親しまれてきました。

しかし現在のクロマツ林は、「松くい虫」によるマツ枯れ被害で、景観が損なわれています。その現状から脱却するため、しんりんかんきょう森林環境譲与税を活用し、令和元年度より村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクトが始まりました。

タイトルの「リジェネ」には、“ゆるやかな回復”という意味があります。「村松晴嵐の碑」や「八間道路」にクロマツのしょくじゆ植樹を行い、豊かな景観と砂防林の機能をゆるやかに回復していくことを目指しています。



2013年2月撮影

松くい虫被害によって  
枯れてしまった  
マツ林…。



みんなで  
元の姿に  
回復させよう！



2019年2月撮影

※森林環境譲与税とは…  
温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源の安定的な確保のためにつくられました。森林整備及びその促進に関する費用に用いられています。

# 村松晴嵐クロマツ林 MAP

村松晴嵐「クロマツ林」リジエネプロジェクトでは、村松晴嵐の碑周辺に令和元年度から5年計画でクロマツの植樹を進めています。新たに植えるクロマツは、松くい虫への抵抗性をもつ苗を用いています。植樹場所となっている村松晴嵐の碑～八間道路を歩きながら、クロマツ林の再生過程を見守り、その成長や植樹の工夫、そして松枯れによって受けた影響を学び、海岸沿いの森林環境を体感してみてください。



## 1 村松晴嵐の碑

(最初の植樹場所)

水戸八景・東海十二景にも選定された「村松晴嵐」。その周辺には、リジエネプロジェクトが始まった令和元年度にクロマツを植樹しました。



## 2 さぼりん ぞうせい ひ 砂防林造成の碑

松林を抜けた先の砂地に、「村松海岸砂防林造成の碑」と刻まれた碑があります。砂防林造成に尽力した先人たちの功績が刻まれており、当時の苦勞が偲べれます。



## 3 八間道路 (R2年度～植樹場所)

八間道路を海岸に向かって進んでいくと、プロジェクト2年目以降に植えられたクロマツを見ることができます。数年に分けて植樹を進めているため、それぞれの場所ごとのクロマツの成長を見比べることができます。

## 6 大神宮

和同元年(708)に創建と伝えられています。伊勢神宮の内宮にあたり、茨城のお伊勢さんとして親しまれています。

## 5 村松山虚空蔵堂

大同2年(807)に弘法大師空海によって創建と伝わっており、十三詣り・厄除けなどの参拝者で賑わいます。

太平洋



## 4 海岸部の植樹場所 (R3年度植樹場所)

海岸沿いは、内陸部よりクロマツが育つのが難しい場所。そのため、敷わら(地面の移動や乾燥を防ぐ)・静砂垣(風よけ)といった他の場所にはない工夫を行っています。

※実はこの工法、大正～昭和の砂防林造成事業のやり方と似ています！  
※静砂垣の中には立ち入らないようお願いいたします。

### アカマツもクロマツも両方見られる!



クロマツは海岸、アカマツは内陸で自生しているのですが、村松海岸では自生のアカマツも見られます。ぜひ違いを比べてみてください。  
幹の色:赤っぽい(アカマツ)、黒っぽい(クロマツ)  
葉:やわらかく触っても痛くない(アカマツ)、かたくて触ると痛い(クロマツ)  
松ぼっくり:小さい(アカマツ)、大きい(クロマツ)

### 森林の働き



森林には風や砂を防ぐ以外にも、私たちが快適に過ごしていくための様々な働きがあります。洪水や土砂の流出を防いだり、野生生物のすみかをつくったり、森林を歩くことで安らぎを得たり…。森林は様々な働きで私たちを支えてくれています。